



### 1. 幅広いアプローチ活動暫定活動開始

平成19年2月5日の幅広いアプローチ活動共同実施協定の署名を受けて、この協定は正式な発効（国会の批准）までの間の日本政府と欧州原子力共同体との間での暫定的な活動が開始されている。この暫定活動期間には、第1回の運営委員会で決められるべき種々の事項、例えば、運営委員会や事業委員会の規則案の策定、調達取り決めや人員派遣協定の案の策定、各事業の事業計画案並びに初年度の作業計画案の策定等が行われるということである。2月8日に東京で第1回の日欧実務者レベル会合が行われ、今後協議すべき事項とそのスケジュールの確認・調整が行われ、3月26日にはマルセイユで、双方の実施機関の設立状況、規則案策定の状況、第1回運営委員会の開催時期等について報告・協議が行われたと聞いている。

### 2. ワークショップの開催等

平成19年2月、国際核融合エネルギーセンターのサブプロジェクトの一つである原型炉設計・R&D調整センターでの原型炉の概念設計の方針等について日欧間での協議が行われた。協議では、日欧相互の概念設計の共有、今後のワークショップの開催スケジュール等が話し合われ、今後必要な調整・検討を行うこととなった。

また、同月から3月にかけては、国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動のワークショップが、それぞれ加速器設備、ターゲット設備、ホットセル試験設備および設計統合に関して集中的に日本と欧州で開催され、共同事業開始に向けての準備を着々と進めた。

(日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門)

## ■人事公募

### 北海道大学・大学院工学研究科・量子理工学専攻 ・プラズマ理工学講座・プラズマ物理工学研究室

1. 公募人員：助教 1名
2. 所 属：量子理工学専攻プラズマ理工学講座（プラズマ物理工学研究室）
3. 専門分野：核融合装置のプラズマ壁相互作用、及びプラズマ応用
4. 担当科目：学部において、計測工学実験、ラボラトリーセミナー、テクニカルイングリッシュ等に関する科目を分担。
5. 応募資格：着任時において博士の学位又はPhDを有する方
6. 採用時期：平成19年10月1日以降のできるだけ早い時期
7. 任 期：5年（任期満了後、審査により1回（5年）の再任が可能）
8. 提出書類：（下記の(1)から(3)まで、本学所定の様式がありますので、問合せ先まで電子メールでご請求願います。）
  - (1)履歴書（写真貼付、生年月日、本籍、現住所、連絡先と電話番号、電子メールアドレス、学歴（大学卒業以降）、学位、資格、職歴を記入願います。）
  - (2)研究業績目録：
    - A 論文等に係る業績：学術誌に発表した査読付論文、著書、国際会議プロシーディングス、解説・総説、招待講演、その他（特許等）に分類し、全著者名を入れて、新しい年代順に記載願います。
    - B 競争的外部資金獲得の実績：科学研究費補助金、共同研究・受託研究等に分類して記載願います。
    - C 所属学協会及びその活動、社会貢献実績、受賞等を記載願います。
  - (3)教育実績：
    - A 教育指導に係る実績：学部教育、大学院教育及び非常勤講師等の実績を記載願います。
    - B 教育改善に係る実績：教科書の執筆、教育改善に関する著書や論文等の実績を記載願います。
9. 提出期限：平成19年6月8日(金)必着
10. 提出方法：封筒表面に「量子理工学専攻助教公募」と朱記し、書留で郵送願います。  
応募書類は原則として返却いたしません。なお、応募書類は助教選考の目的以外には使用しません。
11. そ の 他：選考に際して面接を実施する場合があります。その際、交通費等は支給できませんので、予めご了承ください。
12. 応募書類の送付先及び問合せ先：  
送 付 先：〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目  
北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部  
総務課人事第一係（TEL：011-706-6156・6117・6118）  
問合せ先：〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目  
北海道大学大学院工学研究科量子理工学専攻  
助教 選考・育成委員会委員長 日野友明  
（TEL：011-706-7195、FAX：011-709-6413、  
E-mail:tomhino@qe.eng.hokudai.ac.jp）
13. 北海道大学大学院工学研究科 URL：  
<http://www.eng.hokudai.ac.jp/>